

「広域連携推進の指針(2019年度～2022年度)」(案)の概要

現状

＜本県は近畿・中部・北陸の結節点＞

近畿ブロック知事会、中部圏知事会の両圏域の知事会に属するなど、各圏域の情報を共有、発信できる立場

北陸圏
 中部圏
 近畿圏

(C) Esri Japan

＜滋賀県基本構想(2019年3月策定予定)＞

基本理念 「変わる滋賀 続く幸せ」

基本理念実現に向けた政策の推進に当たっての基本的な考え方の一つとして

近隣府県などとの連携により、広域的課題に対応

＜広域連携の必要性＞

- 外部需要を取り込むため
- 人の流れの変化を県益、県民益につなげるため
- 近隣県との共通課題に対応するため

広域連携推進の方向性

滋賀県基本構想の実現

17 パートナースHIPで
 目標を達成しよう

＜広域連携の取組方針＞

解決すべき広域的な課題の性質と特徴を踏まえ、連携対象や施策の効果等を勘案し、県民生活の向上につながるよう、広域連携を推進し、課題の解決を図る。

＜連携施策の視点＞

- [視点1] ひと・モノの交流活性化
- [視点2] 近隣県との共通課題やリスクへの対応強化
- [視点3] 事業の共同実施による効果向上

＜連携を進めていく分野と主な実施方針＞

<p>[広域交通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路の整備促進によるリダンダンシー確保 ・敦賀～米原～名古屋間等の旅客利便性向上 ・リニア開業を見据えた東海道本線および草津線の利便性向上 <p>[産業・物流]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の企業間連携によるイノベーション創出 ・県内外の人材や技術等のマッチング ・人材確保のための県内外大学等との連携 ・同じ特産物を持つ近隣県との連携情報発信 <p>[観光・文化・スポーツ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光周遊ルートの提案 ・海外の旅行会社等への視察ツアーの実施 ・多言語対応、通信環境等の整備促進 ・大阪・関西万博を生かした誘客促進 ・スポーツツーリズムの推進 	<p>[危機管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の地理的優位性を活かした広域的な応援・受援体制の構築や合同訓練等の実施 ・原子力災害に対する広域的な防災体制構築 ・感染症発生時の連携、体制整備および社会活動制限等を実施する際の調整の仕組みの構築 <p>[健康・医療]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリを活用したセーフティネットの充実 ・災害時における広域救急医療の支援・受援体制の構築 ・危険ドラッグ撲滅への近隣県等との連携 <p>[環境]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化対策に係る普及啓発の広域実施 ・水素社会の形成に向け、産官学等と連携した取組の推進 ・野生鳥獣対策の広域連携 ・県境における産業廃棄物運搬車両の路上検査
---	--